

令和5年9月 経営協議会（対面・オンライン併用）議事録

- I. 日 時 令和5年9月21日（木） 14時00分～15時09分
- II 場 所 千葉大学医学系総合研究棟 会議室1（4階）
- III. 出席者 中山学長、犬養、岩田、香藤、河田、草開、黒木、塩尻、島田、銭谷、西堀、萩原、船橋、正宗、宮坂、中谷、藤江、小澤、丸山、岩崎、米村、伊藤、三木、横手各委員

がざー 角倉、山本各監事
（欠席者：渡邊、堀、諏訪各委員）

※下線はオンライン出席者

- IV. 前回議事録について
原案のとおり承認された。

V. 審議事項（◎学外委員、○学内委員）

1. 国立大学法人ガバナンス・コードへの適合状況等について
丸山理事から、国立大学法人ガバナンス・コードへの適合状況等について、資料に基づき説明があり、審議の結果、承認された。
2. 国立大学法人千葉大学就業規則等の一部改正等について
丸山理事から、国立大学法人千葉大学就業規則等の一部改正等について、資料に基づき説明があり、審議の結果、承認された。
主な意見は以下のとおり。

- ◎ 今回新設した専門職は具体的にどのような業務を行うのか。
- まずはIMOのURAを中心に本取組を始めていく。なお、専門職は教育及び研究を直接行うのではなく、知財管理等において教育職をサポートする業務を行う。
- ◎ 従来 of 体系ではなく専門職制度を新設する必要があるのはなぜか。
- 非常に高度な知識を持っている方を民間企業などからクロスアポイントメント等にて採用するには、一般職・教育職と給与体系が異なる新しい制度が必要であると考えた。

VII. 報告事項

1. 本学における最近の主な動向について
中山学長及び小澤理事から、本学における最近の主な動向について、資料に基づき報告があった。
主な意見は以下のとおり。
- ◎ 令和6年度に情報・データサイエンス学部及び学府（後期3年博士課程）を設置するという話があったが、社会人に本学府に入ってもらおうという想定はしているか。

- 想定している。企業等で活躍している方が、博士課程において最新のデータサイエンスの研究動向を学ぶことで、更に社会で活躍していただきたいと考えている。
- ◎ 本学部及び学府において、AIも教育・研究の対象としているのか。
- 文部科学省が数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度を示していることもあり、AIに関しても教育・研究を行っていく。
- ◎ 学生へのデータサイエンスの倫理教育は、どのように行っていくのか。
- 現在も、学部及び修士の学生に対して、研究倫理等を含めた倫理教育を行っている。また、生成AIのようにこれまで存在しなかった内容が順次発生することに伴い、倫理教育もブラッシュアップしないといけないと考えている。
- ◎ P70に本学の強みとして実績のある3つのカテゴリーとあるが、具体的にはどのようなカリキュラムが出来るか。
- P75のようにデータサイエンス系専門科目として、治療学・看護学、環境工学・園芸等それぞれの応用を意識した専門科目を設置していく。
- ◎ データサイエンス学部の令和7年度入学者選抜において、30%が学校推薦型選抜であるが、他学部の推薦型選抜においては、どのような状況であるか。また、推薦型選抜について、千葉大学はどのような考え方であるか。
- 各部局の特性に応じて、推薦型選抜に取り組んでいる。自己推薦を行う総合型選抜を行う部局、基礎的な学力を担保する学校推薦型選抜を行う部局も存在し、多くの部局が推薦型選抜を行っている。推薦型選抜については様々な意見があるが、本学は学生からの需要が高いため、現状では入試制度を大幅に変える必要がないと考えている。
- 本学部・学府において、企業の中でもリーダーとして活躍できるレベルで輩出できると認識しており、学生にはデータサイエンスの情報を持ちながら、実践的に活躍をする人材になってほしいと考えている。

2. 医学部附属病院の運営状況について

横手副学長から、医学部附属病院における新型コロナウイルス感染症への対応状況、2023年4月から8月の稼働状況、並びにその他の運営状況等について、資料に基づき報告があった。

3. その他

①学長主催講演会シリーズ（第4回）の開催について

藤江理事から、学長主催講演会シリーズ（第4回）の開催について、資料に基づき報告があった。

②学長の業績評価結果について

宮坂学長選考・監察会議議長から、学長の業績評価結果について、資料に基づき報告があった。

以上